

# 平成21年度 全国学力・学習状況調査の結果について

下松市教育委員会

笑い・花・童謡



## 1 調査結果の公表にあたって

小学6年生と中学3年生を対象とした平成21年度全国学力・学習状況調査の下松市の結果について、以下のとおりお知らせします。

この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、また、測定値は固定されたものではなく、今後の指導や取組によって変化し得るものであることを御理解ください。

児童生徒の学力向上に向けては、学校や市教育委員会だけではなく、家庭や地域とも課題を共有し、一体となって取り組むことが大切です。家庭をはじめとして、地域全体で児童生徒の確かな学力を育てていくことに、御理解と御協力を引き続きよろしくお願いいたします。

## 2 教科に関する調査結果について



### (1) 全体の結果

下松市の平均正答率を山口県や全国と比べると、小中学校とも調査を実施した過去3年間で最も良い結果である。

下松市の小学校の全教科(国A・B、算A・Bの合計)の平均正答率は、山口県を上回り、全国平均正答率と同じ水準である。

下松市の中学校の全教科(国A・B、数A・Bの合計)の平均正答率は、山口県や全国平均正答率を大きく上回り、極めて高い水準である。

下松市の小中学校では、山口県や全国と同じく、B問題(活用に関する問題)の平均正答率がA問題(知識に関する問題)を下回り、知識・技能を活用する力に課題がみられる。

参考資料：山口県や全国平均正答率(%)

#### 小学校

区分	全教科	国語A	国語B	算数A	算数B
全国	66.0	69.9	50.5	78.7	54.8
山口県	64.8	68.6	49.6	78.6	52.8

#### 中学校

区分	全教科	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	68.3	77.0	74.5	62.7	56.9
山口県	69.6	78.0	76.3	64.0	58.6

### (2) 各教科ごとの結果

：望ましい点

：課題のある点

#### 小学校 国語

5年生までに学習した漢字を正しく読むこと、書くこと。  
文章の内容に合わせて、小見出しを書くこと。  
ローマ字で書くこと。  
目的や意図に応じて考えをまとめて書くこと。

小学校  
算 数

整数や小数、分数の計算をすること。  
長方形や直角三角形、平行四辺形などの性質を理解していること。  
百分率を求めること。  
情報を整理し、自分の考えの根拠を、言葉や式などを使って説明すること。

中学校  
国 語

文脈に即して漢字を正しく書くこと、読むこと。  
本文の展開に即して内容をとらえたり、語句の意味を理解したりすること。  
主語（主部）に対応させて、述語（述部）を適切に書くこと。  
短歌の形式に従って、意味のまとまりをつかむこと。

中学校  
数 学

正の数と負の数の計算や文字式の計算をすること。  
展開図で表されている空間図形の面の位置関係をとらえること。  
証明の意義について理解していること。  
事象を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明すること。

3 生活習慣や学習環境等に関する結果について



(1) 望ましい状況 \_\_\_\_\_ (1)(2)とも小中学校に共通することがら

朝食を毎日食べること、起床・就寝時刻は、これまでと同様に望ましい状況にある。  
人の役に立ちたいという思いや近所の人への挨拶は、全国と比べて望ましい状況にある。  
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が、全国と比べて高い。  
授業中、話し合いや発表の機会がよくあると思っている児童生徒の割合が、全国と比べて高い。  
読書や算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合が、山口県や全国と比べて高い。

(2) 課題とみられる状況 \_\_\_\_\_

テレビやビデオ、DVDの視聴時間が、山口県や全国と同様に長い。  
家庭学習等、学校以外での学習時間が、全国と比べて短い。  
家庭での計画的な予習・復習や苦手教科の学習等が、山口県や全国と同様に不足している。  
感想文や説明文を書いたり、長い文章を読んだりすることを難しいと思う割合が、全国と比べて高い。  
文章で解答を書く問題を苦手とし、途中であきらめる児童生徒の割合が、全国と比べて高い。

4 今後の取組について

学校では

下松市教育委員会では

今回の調査結果で明らかになった成果や課題を踏まえ、これまでの学力向上プランを見直し、具体的な授業改善を重点的に進めるなど、全教職員による取組を保護者や地域と一体となって推進します。個々の児童生徒の学習状況について、保護者と情報や課題の共有を図り、一人ひとりに応じた指導の充実や家庭学習の習慣化等に取り組みます。

市全体及び学校ごとの課題を踏まえ、これまでの取組を検証するとともに、本市の児童生徒の実態に即した、効果的な学力向上対策を一層推進します。校内研修の充実や授業の工夫・改善等、学校ごとの個別課題に対して、専門的、継続的かつ重点的な指導・助言に努めるなど、学校と一体となって学力の一層の向上に取り組みます。